

ランピースキン病の発生に注意してください。

ランピースキン病の発生が海外で拡大しています。昨年(令和2年)6月の中国福建省及び7月の台湾金門島における発生以降、東アジア、東南アジア地域において感染が拡大しています。直近では今年(令和3年)4月にタイにおいて初めての発生が確認され、15日には台湾本島では初めて北部の新北市の肉牛農場において本病の発生が確認されています。アジア地域からの媒介節足動物の飛来により、本病が国内に侵入する可能性があります。

ランピースキン病とは

【原因】

➢ポックスウイルス科カプリポックス属のウイルス

【疫学】

➢季節的には多湿夏期に多く、節足動物(主にハエ、カ、ヌカカ、ダニ)により媒介され、感染牛の唾液との接触感染又は唾液で汚染された飼料や飲水の摂取により広がります。感染率は5~50%と高いです。

【臨床症状】

➢初期には、発熱、食欲不振、鼻漏、流涎が認められ、発熱後 48 時間以内に多数の結節・発疹が体表(特に頸部、背側、脚部、外陰部)に現れます。発疹の大きさは0.5~5cmで、2次感染により壊死し、潰瘍となり滲出液が固まり痂皮を形成します。軽度の病変は2~3週間で治癒しますが、回復までに3か月以上かかる場合もあります。その他、泌乳量の減少や浮腫が認められます。



お願い

- ① 毎日の健康観察を行い、本病を疑う臨床症状を観察した場合には、速やかに家畜保健衛生所へ連絡してください。
- ② 本病を媒介する節足動物(主にハエ、カ、ヌカカ、ダニ)駆除等の対策を必要に応じて実施してください。

ご不明な点については家畜保健衛生所までお問合せ下さい。

神奈川県県央家畜保健衛生所

県央家保 HP

本所 〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：(046)238-9111 ファクシミリ：(046)238-9124

※休日の緊急連絡先(電話)

☎080-3403-0155

☎080-3403-0157

